

Revolution

～革命を起こそう～

大阪府立千里青雲高等学校 9期生担任団

学年通信 No. 23

2018年2月6日

情報の理解と取捨選択 3年6組担任 葛川 裕晃

皆さん、高校生活はいかがでしたか？楽しいことも辛いことも、叱られたことも悲しいことも腹立たしいこともあったと思います。それら経験したことで、少しでも「成長できた！」と実感してくれていると嬉しく思います。

さて、大学入試の真っ最中ですが、志望校を決めることから出願までの作業が大変でしたね。特に困ったのは、『調査書は提出しないといけないのかどうか』ということ。「公募推薦入試で提出したら、一般入試で提出しなくても良い」という大学もあれば、「出願のたびに提出してください」という大学もあります。それについては大学の入試要項に記載されているのですが、なかなか気付かない、もしくは、記載内容を読み取ることができなかつたり、苦戦している人が多かったです。先日もあった話なのですが、提出しないといけなかった大学から電話で「調査書を提出してください」と言われた人が調査書の発行を依頼してきたり、「調査書を発行してください」と依頼してきたが、確認すると提出の必要がなかつたり……難しいものですね。

今ではスマートフォンが普及し、いつでもどこでもインターネットを利用して情報を得ることができるようになりました。ここで重要なのは、『情報を得ることができるようになった』ことではなく、『情報を得て理解し、それを基に取捨選択ができるようになった』ことです。では、皆さんは正しく理解したり、取捨選択できるでしょうか？情報を正しく理解するには、個人的には知識と文章読解力があれば、大抵はできると思っています。これは普段のどの科目の授業もしっかり取り組んでいれば身につく力です。では、取捨選択はどうでしょう。



1つ例を出してみましょう。数学の教師をしていると、生徒に「数学って将来使わへんし～」とよく言われます。『数学』の取捨選択です。このことについて、皆さんはどう思いますか？（数学の教師としては「数学というのは……」と反論したいところですが…）ここで考えてほしいことは、未来予知でもしない限り「数学って将来使わへんし～」という言葉に根拠がないということです。そんなことを言うと「理屈っぽい」だの「理系の人や～」だのと、また言われてしまいます。でも、大事なことを決めるときに根拠のない理屈では決めないでしょ？物事を取捨選択するには、根拠が必要なのです。



すべての勉強は根拠から成り立っています。国語の評論や英語の長文では筆者の主張の基盤となっている根拠を読み取らなければなりませんし、歴史で起きた出来事には必ず根拠（理由）がありますし、数学や理科では根拠（定義や法則）を利用して証明しなければなりません。つまり、取捨選択する力も、普段のどの科目の授業もしっかり取り組んでいれば身につく力なのです。

皆さんは今後、高校の授業を受けることができません。しかし、大学や専門学校、就職など次のステージに進んでいきますが、勉強は一生ついてきます。（勉強とは机の前に座ってペンを動かすことだけではありません。）是非、いろんな機会を利用して『情報を得て理解し、それを基に取捨選択ができる』力を身につけてください。そして、楽しい人生を過ごしていきましょう。

～今後の主な行事予定～

2月28日（水）：卒業式予行

3月1日（木）：卒業式



Revolution 企画 その16

今年目標

昨年、一昨年と学年通信では『今年目標』について触れてきましたが、今年目標は決めましたか？受験でそれどころではないという人は、一段落着いたら考えてみてください。

ちなみに、今年の1年について3年担任団に聞いてみました。



天野先生：健康に気をつけて剣道を続ける！

下鶴先生：持久走で女子に負けない！

吉田先生：もっと英語の勉強します！

金塚先生：体を鍛えなおして、現役復帰する！（サッカー）

小嶋先生：ピアノを岡田先生の奥さんに習って、ウタちゃんのようにカッコよく弾けるようになる♪

小田先生：筋トレをして、インナーマッスルを鍛え、こけないようにする！

葛川先生：「迷うくらいなら即行動」をモットーにいろんな事に挑戦する！

岩本先生：資格を取るために、勉強を始める！

訂正：3年学年通信②から、学年通信 No.が1つずつずれていました。今回の No.が正しいものとなっています。